日本電子音楽協会
第 23 回定期演奏会 オンライン

Japanese Society of Electronic Music
23th regular concert Online

水沼 慎一郎《Toccata Ⅳ》

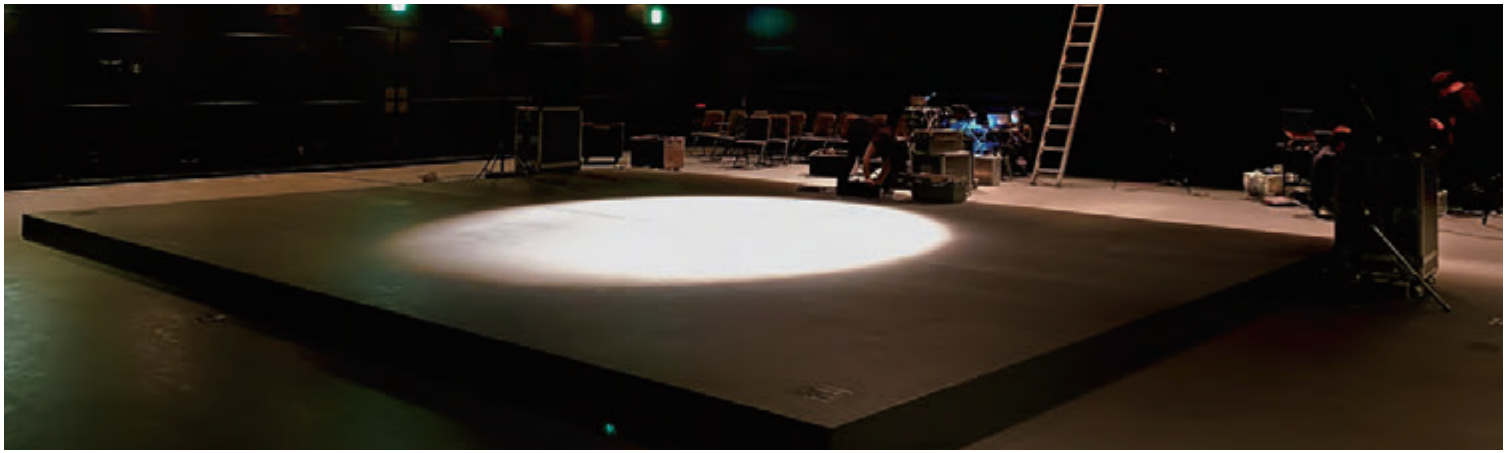
押山 晶子《ただよう》

渡辺 愛《Nagoya-Tokyo-Nagoya》

聖澤 聡《クラリネットの為の Au pas, camarade》

門脇 治《Drumming》

林 恭平《Reminiscences of a Journey to Noto》



水沼 慎一郎《Toccata Ⅳ》

MIZUNUMA Shin-ichiro《Toccata Ⅳ》

四季における空中の現象を、雲群 Ci・風群 Wk・雷群 Em とし、茫漠とした空の情景を、乱数操作により音響音楽で再現する。

雲群 Ci を有する雲粒群 Cj は、j 個のサイン波で表現する。高度を周波数とし $10^3 \leq y \leq 10^4$ Hz（km）にて乱数生成し、
$-0.025 \leq y \leq +0.025$ Hz において 0.01-0.03 秒で移動しながら、集合体である Ci を形成し、Wk の作用で西東へ 移動する。

風群 Wk 有する空気群 Wl はサイン波 $1 \leq x \leq 30hz$ にて変化し、Ci 同様、定位 $-64 \leq p \leq 64$、距離 $0 \leq z \leq 100db$ で空間を作る。
風速 v m/s は定位 p/s とおき、西東へと流れる設定とする。Cj の y と異なり、高度でなく x の差異による風のゆらぎを表す。

Ci が $i \geq 13$ の時、ラインノイズによる静電気群 en を発生し、$i \geq 23$ の時、雷群 Em がディストーションを介し表現される。
尚、Ci・Wk 同様、定位 $-64 \leq p \leq 64$ の両端に近づくにつれ、db 値が 0 へと減少していき、視界から消えていく設定とする。
条件として、$j > i$、$l > k$、$n > m$、$j \cdot i \cdot l \cdot k \cdot n \cdot m > 0$ とする。

押山 晶子《ただよう》

OSHIYAMA Akiko《Tadayou》

自身に“ただよう”感情。それは揺れ動き彷徨い不安定である。

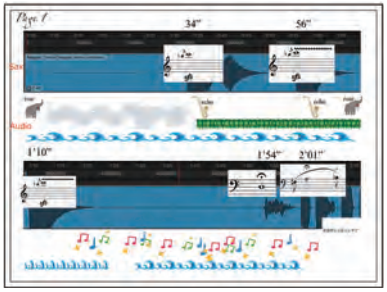
きっかけは、人であったり出来事であったり様々である。良い距離感の時もあれば、まとわり付くこともある。

コントロール出来ずに戸惑う。感情は数秒後には変化し、ズレとなり歪んでいく。

渡辺 愛《Nagoya-Tokyo-Nagoya》

WATANABE Ai《Nagoya-Tokyo-Nagoya》

「Nagoya-Tokyo-Nagoya」は小埜涼子さんと名古屋で初演することを想定して考案した。
名古屋在住の小埜さんにサックスの素材を提供していただき、それを東京で調理して、名古屋で合わせる、という流れである。
小埜さんとの出会いは AMF2015。その後同メンバーでセッションした模様は「Asian Meeting Recordings #1」というアルバム * に収録されているので是非お求め頂きたい。
私が小埜さんのサックスに一貫して抱くイメージは「強い、大きい、ワイルド」。
巨大な野生動物が雄叫びを上げる様な、そしてそれが始原の海や大地を包みこむ様な、動物的でダイナミックなイメージ。
それに導かれてエレクトロニクスを組んでいった。
素材には 2020 年 8 月に大磯で録ったフィールドレコーディングも用いている。
小埜さんの持つ瞬発力を生かしたく、即興部分を多く設定しているため、小埜さんとの共作といえると思う。



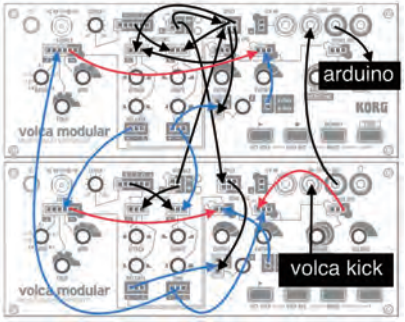
*Asian Meeting Recordings #1 HP｜ http://asianmusic-network.com/2017/09/-1.html

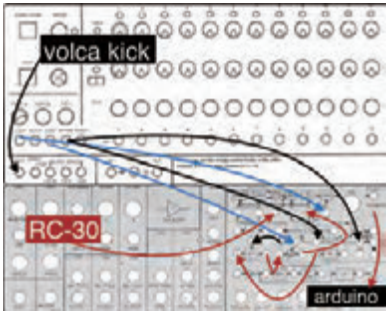
聖澤 聡《クラリネットの為の Au pas, camarade》

HIJIRISAWA Satoshi《Au pas, camarade pour clarinette》

シーケンサー内蔵のシンセサイザーから周期的なリズムと非周期的なリズムを作り出す。

シーケンサーとシンクさせた arduino でクラリネットの持続音を断続的なリズムに加工し、シンセサイザーにより生成されるリズムと融合させる。





門脇 治 《Drumming》

KADOWAKI Osamu《Drumming》

以前仙台で本会の定期演奏会を開催した際、「男性はハードを使いたくなるようだ」という、お声をいただきました。今回はどうなのでしょうか。自分について言えば今回もハードウエアをメインとした。Boppad というドラムパッドである。ついでに言うと、ハードウェアを「演奏」したいと言うのが潜在的な意識のようだ。電子音楽協会の会員となって久しいが、私は旧来のアコースティックな音楽が、そして即興的、インタラクティブなパフォーマンスが好きなのだ。そして今回はドラムパッドを自ら即興的に演奏するのだが、行為が drumming であり、音は percussive ではないと言う代物です。

林 恭平《Reminiscences of a Journey to Noto》

HAYASHI Kyohei《Reminiscences of a Journey to Noto》

能登には素晴らしい日本文化が眠っています。お盆の季節には毎年巡った能登の美しさの輝き。その一つ一つを紡ぎ上げ一つの電子音響映画作品として纏め上げました。私の青春を過ごした兵庫県三田市から北上しやがて能登に脚を踏み入れ、能登の数々の形勝、名品、名産物、町々を巡る旅に出ます。能登の人々の優しい笑顔に触れ、癒されてみませんか？

プロフィール / Biography

水沼 慎一郎 / MIZUNUMA Shin-ichiro

新潟大学 教育人間科学部 芸術環境創造課程 音楽表現コース卒業
スコラ・カントルム（フランス・パリ）卒業
創建ホーム、トヨタ、一条工務店、各 CM 音楽制作
日本の作曲家 2011（東京オペラシティ）「Kairos for violin」
仙台マチナカアート（仙台）「Skyscape for 6 sensors and 6 loudspeakers」
Petites formes 2020（フランス・パリ）「Toccata III」入選
作曲を門脇治、清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティーノの各氏に師事
https://www.youtube.com/mizumusic1983

押山 晶子 / OSHIYAMA Akiko

名古屋音楽大学器楽科卒業。名古屋市立大学芸術工学研究科博士前期課程修了。演劇やミュージカル等の舞台音楽を手がける。またシンフォニックコンサートでは、多くのアーティストの編曲を担当し、セントラル愛知交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団などにより演奏されている。現在、大同大学科非常勤講師。

渡辺 愛 / WATANABE Ai

作曲家。東京音楽大学大学院修了後に渡仏、パリ国立地方音楽院修了。東京芸術大学大学院博士後期課程修了。リュック・フェラーリ研究で博士号取得。現在尚美学園大学、昭和音楽大学、東京芸術大学非常勤講師。日本電子音楽協会理事。先端芸術音楽創作学会会員。女性作曲家会議メンバー。

https://aiwatanabe.tumblr.com/

小埜 涼子 (サクソフォン) / ONO Ryoko

アルトサックス奏者。
名古屋を拠点とし、即興演奏活動を主としながらも、ブルース、ロック、ノイズやプログレなどジャンルを超えた活動や様々なライブ、レコーディングにも参加。

http://www.onoryoko.jp/

プロフィール / Biography

聖澤 聡 / HIJIRISAWA Satoshi

名古屋工業大学卒業。サックス奏者、シンセシスト。
“スティーブジャクソン”、” ホットハニーバーニーストンパーズ”、” IN” など、名古屋を拠点にジャンルを横断した活動する。シンセシストとしての名義 “carpe diem” では、環境の背景にある音と電子音との関係に着目し、シンセサイザーと自作の機器を駆使した音楽を制作、発表している。

門脇 治 / KADOWAKI Osamu

宮城県塩竈市生まれ。作曲を故本間雅夫、吉川和夫の両氏に師事。様々な分野の作編曲に触手を伸ばし、アジア作曲家連盟や国際現代音楽協会の大会に選出されるなど作品は海外でも紹介されている。日本電子音楽協会会員。

林 恭平 / HAYASHI Kyohei

大阪芸術大学大学院作曲コースにて、七ツ矢博資、上原和夫、宇都宮泰、檜垣智也に師事する。
Prix Russolo の日本代表の陪審員として 2016 ～ 2022 年に任命される。2019 年度、若尾裕が主催する『Creative Music Festival 2019』の講師を務めた。
2020 年、BBC RADIO 3（イギリス）にて自作の電子音響音楽作品が放送される。主な受賞歴として 2015 年度の Prix Russolo(フランス）にて Grand Prix Russolo、1er Prix Russolo を同時受賞、Paris Festival for Different and Experimental Cinema. This 21st festival edition（フランス）、SIRGA FESTIVAL（スペイン）受賞、Prix Presque Rien（フランス）3 位受賞。

第 23 回 日本電子音楽協会定期演奏会 オンライン

2022 年 3 月 15 日 (火) / 配信 2022 年 3 月 22 日 (火)
愛知県芸術劇場 小ホール
主催 日本電子音楽協会

企画・制作	鈴木 悦久 (日本電子音楽協会)
音響	岡野 憲右 (ザ・イアーズ)、西村 斉 (ザ・イアーズ)
ステージマネージャー	伊藤 利恵
ステージスタッフ	清水 真裕子、坪内 健人、林 亮太
撮影・編集	安江 健 (Clarity Sound)
カメラ	村木 耀太、伊地知 昂大、溝口 恵理奈
フライヤーデザイン	小阪 淳

Japanese Society for Electronic Music
日本電子音楽協会

今後の予定 / information

◉小埜涼子
1）Bandcamp にてアルバムリリース多数
https://onoryoko.bandcamp.com/

2）「Plastic Dogs」ライブ第 2 弾：5 月 20 日（金）
「ワールドワイドな音楽で対バン」の巻
今池　バレンタインドライブ　https://valentinedrive.com/
open18:30 start19:30 前 / 当 ¥2,500
対バン：「UFO et MAYU」野口義徳（per),MAYU（per）

3）「Plastic Dogs」ライブ第 3 弾：6 月 24 日（金）
「犬と馬のファビュラスな出会い」の巻
今池　バレンタインドライブ　https://valentinedrive.com/
open18:30 start19:30 前 / 当 ¥2,500
対バン：人間万事塞翁が馬バンド
puyo(as) 谷向柚美（vo,key)G 子（g）近藤久峰（ds）笠井トオル（b）

◉渡辺愛
1）ヴィオラとエレクトロニクスのための「LDJ」が CCMC2022 アクースマティック・ミュージック・チャンネルにて 3 月中旬〜 4 月中旬まで配信公開。
アクセスは https://youtu.be/6Cc5igi0fNM から。
（CCMC2022 の概要は https://acsm116.com/ccmc-2/ccmc2022-and-over/ccmc2022concert/）

2）Bandcamp にて小品が購入可能
https://aiwatanabe.bandcamp.com/

今後の予定 / information

◉門脇 治

1) 矢巻正輝 トロンボーンリサイタル ~ 孤高の咆哮 ~+

3 月 25 日 (金) 開演 19:00（開場 18:30）

豊中市立ローズ文化ホール

2) アジア音楽祭 2022

～室内楽コンサートⅢ～

2022 年 3 月 30 日（水）19:00 開演（18:30 開場）

ミューザ川崎 市民交流室